

## 平成 29 年 11 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

11月の業種別景況の前月比DI値は14業種の内、好転が5業種、悪化が1業種、昨年同等が8業種となり、全体の景況感DI値は好転している。

繊維工業、窯業・土石製品、商店街、サービス業、運輸業では季節商品等の需要もあり売上が増加傾向であるが、卸売業では以前の取扱量まで回復していないとの声がある。

山口県の中小企業は、景気が回復傾向にあるとする割合が増えているが、人手不足等による労務管理が深刻な課題となっている。

### 山口県の主要指標 DI 値（平成 29 年 11 月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：12.5% 悪化：23.8% DI値：▲11.3% ポイント

売上高 ( < 増加 > - < 減少 > = < DI 値 > )

前年同月比は、増加：31.3% 減少：21.3% DI値：▲10.0% ポイント

収益状況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：15.0% 悪化：23.8% DI値：▲8.8% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 29 年 11 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲28.6	▲25.0	▲33.3	▲50.0	▲16.7	22.2	50.0	▲9.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
0.0	▲22.2	▲50.0	▲9.1	▲20.0	28.6	▲100.0	▲12.8
							

全体
▲11.3


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	雇用確保のため販売員の時給を1000円に高くした店もある。一方、家族・パートの小規模店では、最低賃金の上昇が大きな負担となっている。	パン・菓子製造業
	11/26時点の売上は対前年同月比で+12.9%と大幅な伸びとなっている。特に平日の売上が高めで安定しており、「長州サムライ飯」企画でメディア露出が増えたことが主な要因である。また、JR西日本のDCキャンペーンもプラスに作用している模様である。来年の明治維新150年関連で萩市・観光協会とのタイアッププロジェクトを検討中である。	水産食料品製造業 萩市
	今後の世の流れが読みづらい。消費増税が確実にありそうだが、消費の落ち込みなどが危惧される。準備も大変で中小企業には負担が大きい。	水産食料品製造業 下関市
	季節外れの長雨のため稲刈り作業に遅れが生じ、併せてお米の収量についても低下している。今年の冬は寒波の襲来が予想され、野菜価格の上昇が社会的な影響を与えている。企業経営における天候リスクがさらに高まっている。突然の自然災害へ対応できるような、国民への連絡体制などの仕組みづくりが必要になってきている。また、地球温暖化をこれ以上進めないためにも、二酸化炭素を排出しないような社会づくりが重要。特に中国においては、自然エネルギーに特化した社会づくりが進んでいるようであり、日本においても、そのような取り組みが急がれる。	精穀・製粉業
繊維工業	11/10、中国人実習生が6名来日し、現在は中国人18名、ベトナム人46名の64名となっている。	下着類製造業
	繊維製造業の県内工場操業停止が1社あった。	外衣・シャツ製造業 山口市
	やはり衣類が売れていないもようで、受注数が少なく少ロットばかりである。	外衣・シャツ製造業 下関市
	2018年夏物の生産準備時期に入り、多品種の引き合いが増えてきた。従来からのアイテムに留まらず、新しい生産体制にチャレンジする工場も見られる。身になるまでに多少の時間を要するが、今後の対応や技術力によってメーカーからの引き合いも増え、仕事量の安定確保が期待できる。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	徳地材については、機械の修理が終り少しずつ回復している。	製材業・木製品製造業

印刷	需要期を迎え受注量は増えてきたが、前年同月比で見ると受注量は減少している。	印刷 下関市
	相変わらず、工場の稼働率が低い。	印刷 山口市
窯業・ 土石製品	11月の出荷量は、 (平成28年11月) 骨材 75%、路盤材 74%、再生材 112% ↓ (平成29年11月) 骨材 152%、路盤材 107%、再生材 80% 公共工事というより、民間工事が少しずつ出ているようだ。	砕石製造業
	出荷量は、前月比 116%、前年同月比 101%、累計の対前年比 96%。現時点のセメント・骨材等の資材調達で特に問題は生じておらず、生コン価格も安定している。	生コンクリート製造業
	最近ペット(犬)のお墓の依頼が来た。ペットの埋葬に関する法令や、墓埋法(墓地・埋葬に関する法律)を改めて勉強して、今後の仕事に活かして行きたい。	石工品製造業
	萩市内の売上は前年同月比で同等もしくは上向いた状況。「幕末維新やまぐちデスティネーションキャンペーン」の効果か、観光客数は把握していないがツアー客・個人客ともに、ある程度の単価の商品を購入していただくケースが増えているように思う。組合が商品を提供している浅草のアンテナショップは、前年同月比で売上が減少している。夏から秋にかけて飯碗フェア・酒器フェア・物産フェア(組合員によるろくろ実演)等を行い、一定の効果はあったが、依然厳し状況。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	募集を掛けてもなかなか人が集まらないと言う話をよく聞くようになった。	一般機械器具製造業 周南市
	11月は、組合員各社とも前月に引き続き良い方向へ進んでいる。新政権の地方創生に期待したい。自動車関連(金型を含む)・海外プラント関係は、好調を維持している。装置関連では、今までライバルだった中国企業からの発注があり好調。	一般機械器具製造業 防府市
	機械検査、機械加工関係の受注状況は引き続き安定している。食肉加工、惣菜、自動車、造船関係等全ての職種で業績は好調で残業も多く、外国人技能実習生増員の相談も続いている。食品加工業1社が工場閉鎖することが決定し、この業界だけは不安定である。介護の実習生受入れについては、複数の施設からの相談、要望があり、中国、ベトナムへの調査を進めているが、受入れの条件が厳しく対応に苦慮している。引き続き、フィリピン、インドネシアの	一般機械器具製造業 宇部市

	調査を行う予定である。なお、11月1日付で、一般（優良）組合の指定を受けたので、法改正に伴う3号への移行による実習期間5年への延長についても多くの企業から要望があり、移行の手続きをしている。	
輸送機器	鉄道車両部門は、順調に作業量に恵まれ生産が進んでいる。精密加工部門と産業プラント部門は、もう少し時間がかかる見通しにあるものの、上昇に転じると期待されている。	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	この時期は、お正月“おせち”関連商品が増加し、売上の前年同月比は今年初の4%の微増となり、また、在庫も4.7%増加している。しかし、本来の海苔の売上は上がらず、業界の景況感は悪い。来年の海苔に期待している。	乾物卸売業
	3年ぶりに“ふく”の価格が安定したため、今シーズンは期待できる。	生鮮・魚介卸売業
	11月に入り急に気温が下り、冬の商品の売上増。しかし、以前の取扱量までは回復していない。	各種商品卸売業
小売業	化粧品業界の平成29年11月の売り上げは厳しいと言われるが、原因は特に分からない。10月に組合専用の健康食品（DHA+EPA）が発売され、売れ行きは好調のもよう。12月からの年末商戦で、売上げが伸びてくれれば良いと話している。	化粧品小売業
	11/26に商業エリアへ隣接するJR岩国駅の駅舎建替工事の一部（駅機能+橋上自由通路）が完成し供用開始となったことを受け、商店街エリアでは(株)街づくり岩国や商議所と協力し、完成記念歳末抽選会&売出を500万円規模で実施。あわせて駅前エリアのイルミネーション飾りなどで歳末商戦ムードが高まり、小売業は業況好転している。製造業も歳末景気もあって上々のもよう、岩国の市街地全体は上向きである。商店街への新装開店（出店）も相次ぐなど、景気感は良い。今後も街づくり、商工業、観光は連携をして相乗効果を図りながらロスが無いよう進めていくべきと考えている。	各種商品小売業 岩国市
	今月は大きなイベント（えびす祭り）があり、思ったより売上が増加している。来客数は少し多い位にとどまったが、在庫数も減少し、今年一番の収益になったもよう。急に寒くなったこともありそれも影響しているかとも思う。12月はボーナス時期でもあるので、このままの状況が続くことを期待している。	各種商品小売業 山口市
	先月同様、前年同月比で商店街への来客数が減少している。12月に「大歳の市」（ガラポン抽選会）を開催し、年末に向けて来客数増加に繋がるよう準備を進めているところである。	各種商品小売業 下関市

	<p>月前半は気温が高めに推移したため衣料品の売れ行きが伸び悩み、客数、売上とも、前年を下回る売上の状況。</p>	<p>各種商品小売業 長門市</p>
<p>商店街</p>	<p>各組合員ともいろいろな手法を試みるも人材確保（新規採用）に苦勞しており、商店街の存続を案ずる声もある。12月商戦。12月に入ると寒くなるとの予報もあり、寒い冬ならでの防寒用品・鍋食材等の売上増加に期待している。</p>	<p>山口市</p>
	<p>個人消費は厳しい状況が続いている。</p>	<p>宇部市</p>
	<p>各店とも売上は厳しい。衣料品店も季節の変わり目では売上が多少伸びたようだが、11月は厳しいもよう。12月には1店舗閉店予定でもあり、商店街としてはより一層工夫して商売をしていかなければならないという声が出ている。</p>	<p>萩市</p>
<p>サービス業</p>	<p>12月の前という事で、時期的にゆっくりした日が続いている。月末近くになり、お出かけごとが多くなってきたようで、客足が少しずつ伸びている気がする。寒い日は、出かける人も少ない。</p>	<p>美容業</p>
	<p>依然として景気の上向き感もなく、今後も不安。</p>	<p>理容業</p>
	<p>県内の整備工場に、外国人技能実習制度に基づいた自動車整備業の技能実習生がベトナムから3名来日しており、10月に1年目の評価試験を山口県自動車整備振興会において実施した。3名それぞれ評価試験に合格し、現在、整備技術を身につけるための整備作業等に従事しているが、県内においても整備要員不足が現実のものとなった今、整備事業者にとっては一時的とはいえある程度の戦力になるものと思われる。今年に入り、整備工場から「自動車整備士採用の募集を出しても誰も来てくれない。」といった悲鳴が聞こえる中で、今後、整備工場にとっては外国人技能実習制度が貴重な存在となるかもしれない。</p>	<p>自動車整備業</p>
	<p>労働力不足による機会ロスが発生している。来年度に向けて人材確保を検討中。</p>	<p>スポーツ・健康教授業</p>
	<p>業界全体が厳しい状況。そうした中、染み抜き等の色々な加工で付加価値をつけ、一点単価を上げていく努力が必要であり、各店で創意工夫をしている。各地で祭りなどのイベントが行われ、法被などの受注が多かった店もある。</p>	<p>普通洗濯業</p>
	<p>売上の減少及び販売価格の低下は、季節変動に伴う団体旅行の減少等、人の動きが少なくなっているためである。</p>	<p>旅行業</p>
<p>宿泊人員は前年同月比105%と好調に推移した。DCキャンペーンの効果と思われるが、週末に宿泊</p>	<p>旅館業 山口市</p>	

	<p>者が集中している。湯田温泉の宿泊キャパシティーを考慮すると、平日の宿泊者対策が必要となっている。</p>	
	<p>昨年は熊本地震の影響で景気も悪かったが、今年は天候にも恵まれ全体的に好調です。</p>	<p>旅館業 下関市</p>
	<p>入浴者数は前年同月比で若干増加したが売上高は減少している。売上高が伸びず、水道光熱費、加熱費等の経費が増加しており、営業益は減額となった。</p>	<p>旅館業 長門市</p>
	<p>年末に向けての忘年会等の出足が少し遅いように感じられる。その他は昨年と比べて特に変わりはない。天候により生鮮食品の仕入れ価格が変動する。</p>	<p>飲食業</p>
建設業	<p>11月の山口支部の中電への工事申請は116件。太陽光発電の申請26件、オール電化申請71件。LED街路灯への切替・新設は28件であった。</p>	<p>電気工事業</p>
	<p>建設業の労務系専門工事業者は“働き方改革”の荒波に曝されている。高校新卒の採用が困難な中で、従業員の他産業への転職が進んでいる。今年10月に開催された中央会全国大会のスローガンの一つは“中小企業の実態を踏まえた働き方改革の推進”であった。</p>	<p>左官業</p>
	<p>平成29年度の発注が終わり、2月末の納期に向けて順調に仕事を熟している。人手不足の状態にも慣れ、先送りをする等やり繰りをして仕事をしている。燃料費はジワジワと上がっている。この年末年始はお休みが多く天気が悪化すると、仕事が停滞するかもしれない。周南地区の大手企業の閉鎖や減収見込み等により、法人税等税収が減収見込みとの話もあり、平成30年度の発注を心配している。</p>	<p>管工事業</p>
	<p>年末にかけて新築着工件数は横ばい気味である。相変わらず、屋根に板金を採用する物件が増加している。瓦工事の件数は相対的に減少傾向であるので、これからは一般のお客さんからの直接受注がカギとなる。</p>	<p>屋根工事業</p>
	<p>内装工事業は8月以降の好調が引き続き、職人が足りない状態で今後も続くと言われる。月後半に予定の工事現場が諸事情によりストップするという事態が起きた。2か月遅れの開始予定となったが、工期のズレ込みによる他現場との施工の変更が効かず、残念ながら、断った。その分予定していた出来高がスッポリ抜けた状態となり12月に多少影響しそう。</p>	<p>内装工事業</p>
	<p>小企業の社長と話をした時に、仕事（下請工事を含む）はあるのだけれども、利益が出ないと言っていた。多分、作業員の数も増えず、仕事の効率も悪いのだろうと推定されが、あまり職員を増やす事は考えていない模様。ある福利厚生団体のトップと話を</p>	<p>土木工事業 柳井市</p>

	<p>している時、2代目、3代目の社長はすぐ電卓をたたいたが、昔の社長は、良く人の話を聞いていたとのこと。若い社長は、電卓と話をして人と話をしない、人の話を聞かないのか、トップとして人間的な魅力に欠けているのか。人は集まらないと思う。</p>	
	<p>11月の受注高は、対前年同月比196.0%。今年度の累計は、対前年比72.7%。</p>	<p>土木工事業 萩市</p>
運輸業	<p>相変わらずのドライバー不足で、長距離物資輸送は苦渋の1ヶ月であった。近・中距離はやや順調で90%弱程度の車輛が確保でき、結果、前年同月比で0.7%弱のプラスとなった。“働き方改革”による稼働時間の不足が目立っている。燃料費は3円の値上げ。“働き方改革”による賃金の上昇と、油価格の上昇は、中小企業運送業者の経営を圧迫しているとの感が強い。いつものことながら軽油引取税の何%かでもよいから引き下げにならないものか、との声が多く聞かれる。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下松市</p>
	<p>先月同様今月の輸送受注も、前年同月比で10%程度のプラスとなった。自動車関連の中距離スポット便の発注が大きく売上に寄与している。しかしながら、燃料費は5ヶ月連続して上昇しており、前年同月比で約16.4%上昇している。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
	<p>売上は変化していないが、軽油価格の上昇が、利益を圧迫している。長距離搬送や倉庫業は調子が良いものの、地場の配送やダンプ搬送がかなり苦戦している。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
	<p>タクシーチケットの取扱金額は、前年比+3.1%（平成29年10月1日～平成29年11月20日分）でした。10月1日～31日分は+5.8%、11月1日～20日分は▲0.6%です。前年10月は▲4.3%だったのでその戻りも考えられますが、9月中旬から増加傾向にある。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域。10月分については、周南+8.0%、下松+18.3%、光+16.8%、防府市地区が▲2.6%で、組合員の全域では+8.0%、地区外（員外）▲26.3%で合計+5.8%となった。主要燃料であるLPGは、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが上昇した（前月540.0\$/トンが今月580.0\$/トン、前年405.0\$/トン）ため前月より+4.1%となった。前年11月分に比べ+24.6%となっており、年末の繁忙期を控え、タクシー事業者にとって、この負担が大変になっている。タクシー乗務員は慢性的に不足しているが、労働時間の管理（監督署+運輸局による）が厳しくなり実稼働人数が減少。時間帯によると配車が遅れるような状態となっている。取扱金額は、前月</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>

	<p>分が増加し今月もほぼ同額の金額となりました。今月後半の動きが少し心配だが、少し景気回復しているように思われる。</p>	
	<p>今月は、若干、取扱高が伸びたが、これは石灰の輸出量が影響していると思われる。バース（着岸場所）のドラフト（水深）が公証通りになるよう、浚渫等港湾整備が行われれば、一回の船積みで取扱量が増え、もう少し数字も上がるのではと推測している。</p>	港湾運送業
<p>その他 非製造業</p>	<p>介護業界の状況では、やはり人手不足が一番の課題。入職しては辞め、退職金をねだり他に移るといったケースが多く県内では有名な労働者もいた。現在、労働者の売り手市場であり義務を遂行せず権利だけを主張し、事業所は困憊している。来年度からは外国人介護士の受け入れも開始されるので事業所の買い手市場へ転換していくことが期待している。</p>	介護事業